2009年3月期 連結業績説明会



株式会社インターネットイニシアティブ(証券コード:3774) 2009年5月15日



I. 2009年3月期 総括と今後の見通し

Ⅱ. 2009年3月期 通期連結業績

Ⅲ. 2010年3月期 連結業績見通し

Ⅳ. ご参考資料

I. 2009年3月期 総括と今後の見通し



≪2009年3月期 実績≫

·営業収益(売上高) 69,731百万円 (前年同期比 4.3 % 増)

- 営業利益 2,917百万円 (前年同期比 38.7 % 減)

- ストック売上は前年同期比14.3%増、売上構成比率77.5%と計画通り伸長、事業基盤拡充が進展
 - 新サービスの継続的な開発・提供によりストック売上を継続伸張していく事業モデルを強化
- SI構築一時売上は景気悪化にて特に大口アプリ開発案件が減少、前年同期比18.7%減
- モバイルサービスが順調に立ち上がり、アウトソーシング・配信系等新サービスの継続投入
 - モバイル約23,000回線受注、下半期に損益分岐点を超え引き続きソリューションラインアップ拡充
 - アクトビラに続き大手TV局の映像配信提供開始
- コストコントロールにより既存事業は下期利益向上
 - SI常駐外注要員 2Q末352名→4Q末254名
 - 既存事業営業利益率 1Q08:3.5%、2Q08:5.2%、3Q08:6.9%、4Q08:8.0%
 - 新設4子会社通期営業損失 12.7億円、FY09は損失額縮小へ
- 2010年3月期見通しは増収増益を展望、2桁増益率へ
 売上高730億円(前年同期比4.7%増)、営業利益33億円(前年同期比13.1%増)、
 当期純利益17億円(前年同期比19.8%増)
 - ストック売上継続伸張、SI構築売上約20億円減、新設子会社損失約10億円前後
 - 1株当たり配当予想2,000円(中間期1,000円)、2009年3月期と同額予定
- 更なる技術開発強化によりサービス開発・提供を推進、景気影響を受け難い事業モデルを 継続追求する戦略

Ⅱ-1. 2009年3月期 通期連結実績サマリー



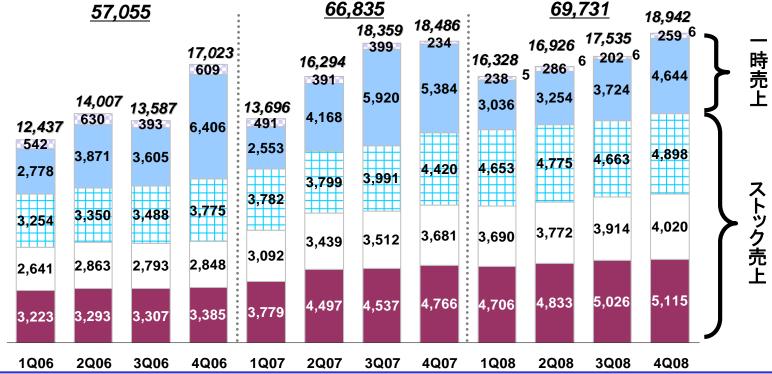
				単位∶億円
	<i>売上比</i> FY08 (08/4~09/03)	<i>売上比</i> FY07 (07/4~08/03)	前年度比	
営業収益 (売上高)	697.3	668.4	4.3%	▶ ストック売上が引き続き順調 に増加(前年同期比14.3% 増、売上構成比77.5%)
売上原価	80.5% 561.5	79.1% 528.8	6.2%	→ 新設4子会社に係る原価は 593百万円
売上総利益	19.5% 135.9	^{20.9%} 139.5	△ 2.6%	➤ 新設4子会社に係る販管費 は709百万円
販売管理費等	15.3% 106.7	13.8% 91.9	16.0%	→ 4Q08にて営業用資産の除 却等424百万円→ 新設4子会社にて1,272百万
営業利益	4.2% 29.2	7.1% 47.6	△ 38.7%	円の営業損失
税引前当期利益	2.9% 20.3	6.5% 43.6	△ 53.4%	て3Q08比1.1ポイント上昇 ▶ 有価証券評価損524百万円
当期純利益	^{2.0%} 14.2	7.7% 51.8	△ 72.6%	→ 税効果会計による法人税等 調整額(損)637百万円

Ⅱ-2. 営業収益(売上高)の推移



単位:百万円

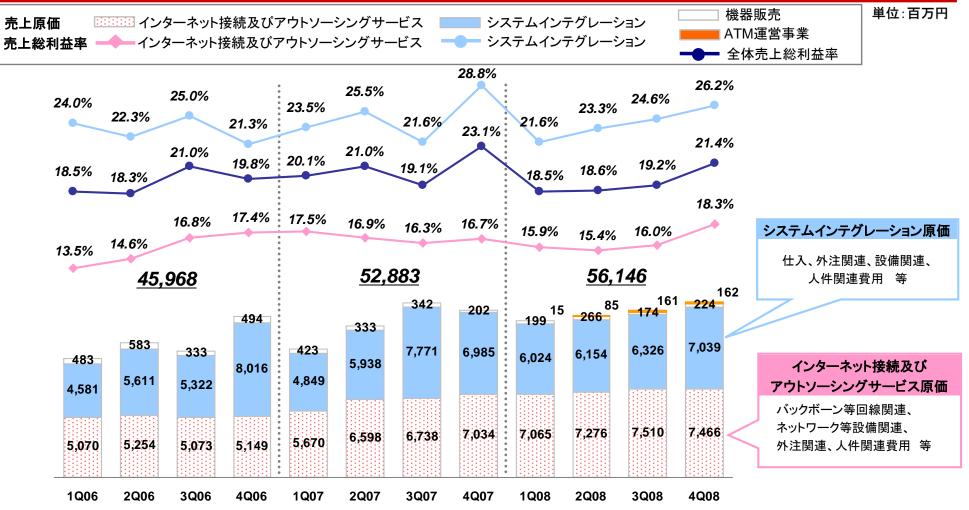




- ◆ ストック売上は想定どおり順調に積み上がり、FY08 54,064百万円(FY07比 14.3%増)、 4Q08 14.032百万円(4Q07比 9.1%増、3Q08比 3.2%増)
 - ▶ インターネット接続サービス: FY07比12.0%増、4Q07比7.3%増、3Q08比1.8%増
 - ▶ アウトソーシングサービス: FY07比12.2%増、4Q07比9.2%増、3Q08比2.7%増
 - > SI運用保守: FY07比18.7%增、4Q07比10.8%增、3Q08比5.0%增
- ◆ 一時売上はSI構築が減少し、FY08 15,667百万円(FY07比 19.8%減)、 4Q08 4,909百万円(4Q07比12.6%減、3Q08比 24.9%増)
 - ▶ SI構築: FY07比18.7%減、4Q07比13.7%減、3Q08比24.7%増

Ⅱ-3. 売上原価・売上総利益率の推移





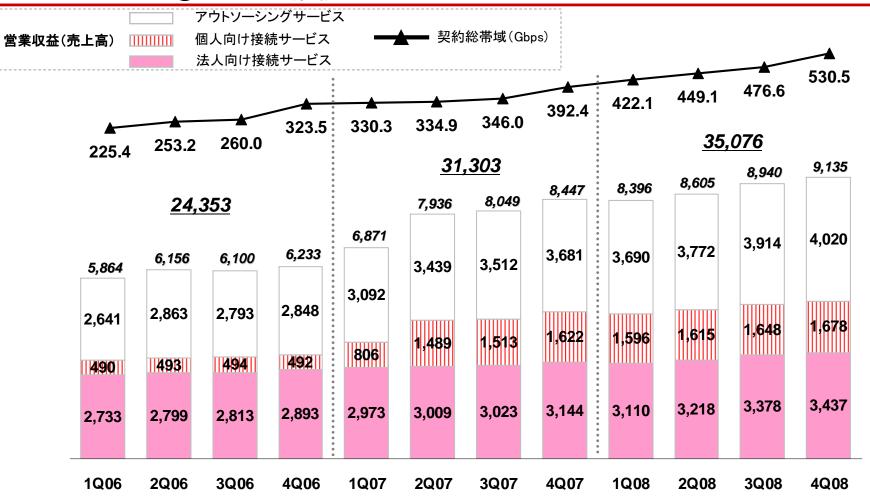
- ◆ インターネット接続及びアウトソーシングサービス原価: FY07比12.6%増、4Q07比6.1%増、3Q08比0.6%減売上総利益率は、FY07比0.4ポイント減、4Q07比1.5ポイント増、3Q08比2.3ポイント増
- ◆ システムインテグレーション原価 : FY07比0.002%減、4Q07比0.8%増、3Q08比11.3%増 売上総利益率は、FY07比0.8ポイント減、4Q07比2.6ポイント減、3Q08比1.6ポイント増
- ◆ ATM運営事業原価 : FY08 422百万円、4Q08 162百万円(3Q08比0.7%増)

Ⅱ-4. インターネット接続及びアウトソーシングサービス

Internet Initiative Japan

単位:百万円

① 売上の推移



- ◆ 法人向け接続サービス: FY07比8.2%増、4Q07比9.3%増、3Q08比1.7%増
 - ▶ 1Gbps超の大口契約が4Q07比+24件、3Q08比+12件と順調に増加、契約総帯域は継続的に拡大
 - ▶ IIJモバイル受注回線数は約23,000回線(個人向けを含む)へと増加
- ◆ 個人向け接続サービス: FY07比20.4%増、4Q07比3.5%増、3Q08比1.9%増
- ◆ アウトソーシングサービス: FY07比12.2%増、4Q07比9.2%増、3Q08比2.7%増
 - ▶ 迷惑メール対策等のメール関連やセキュリティ関連等のサービスが引き続き堅調に推移

Ⅱ -4. インターネット接続及びアウトソーシングサービス ② サービス提供の状況



■ 特に景気悪化の影響なくFY08は計画通りに伸張、ストック売上積上げによる事業基盤強化が進展

<インターネット接続サービス>

- ▶ 法人向け接続サービス:
 - ・事業法人のインターネット利用拡大、映像配信の普及によるコンテンツ事業者等の増速ニーズを背景に 契約総帯域は530.5Gbpsまで拡大
 - 1Gbps超の大口契約は引き続き順調に増加、4Q08末94件(4Q07比24件増、3Q08比12件増)
 - ・100Mbps~1Gbps未満の契約も継続増加(4Q07比24件増、3Q08比2件増)
- ▶ 無線データ通信サービスは損益分岐点を超える規模へ成長、受注回線数は約23,000回線
 - ・法人向け「IIJモバイル」サービスにて、独自端末の追加や社内LANへの閉域接続を実現する「IIJダイレクトアクセス」等の新たなソリューションを開発・提供



- ・08年12月より個人向け(「IIJmio」「hi-ho」)にも提供開始し順調に受注拡大、クティオも好評
- ・FY09受注目標は20,000回線
- ▶ 個人向け接続サービス:
 - ADSL回線等から光回線への移行に伴い売上単価が引き続き増加
 - ・hihoの売上寄与が前年同期10ヶ月(3,765百万円)から12ヶ月(4,971百万円)へ



<アウトソーシングサービス>

- ▶ 迷惑メール対策等のメール関連サービスやセキュリティ関連サービスが引き続き堅調に推移
 - ・「IIJセキュアMXサービス」にて送信ドメイン認証強化やGDX Japanサービスを利用した Mail オプション付与等、顧客ニーズに合わせ付加価値を向上、継続的に受注拡大
 - ・Web経由での情報漏えい対策・ウイルス感染対策など、Webアクセスのセキュリティ対策機能を統合的に提供する「IIJセキュアWebゲートウェイサービス」を提供開始



- データセンター関連サービスは引き続き需要好調
 - ・09年2月より「練馬データセンター」稼動



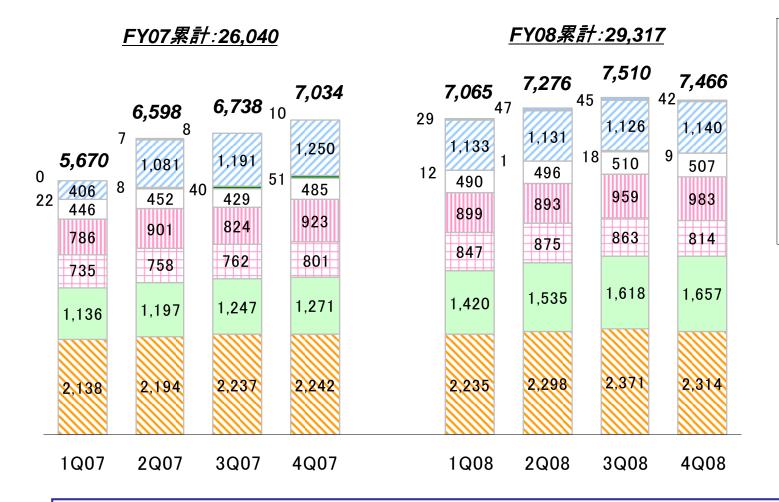


Ⅱ-4. インターネット接続及びアウトソーシングサービス

Internet Initiative Japan

③ 原価の推移

単位:百万円



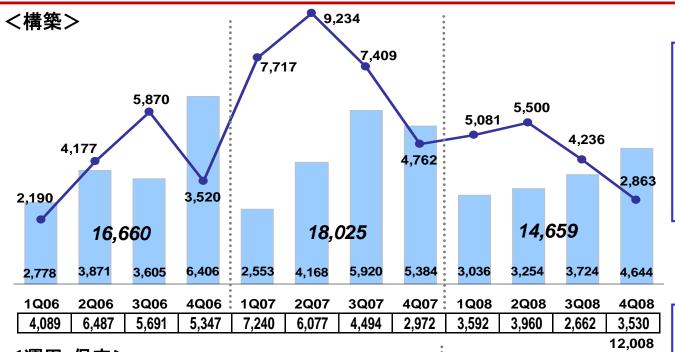
- ■新設子会社
- hiho
- ■仕入
- □その他
- Ⅲ 外注関連
- □人件関連
- ■設備関連
- № 回線関連

- ◆ 原価総額 FY07比12.6%増、4Q07比6.1%増、3Q08比0.6%減
- ◆ 新設子会社GDX Japan、オンデマンドソリューションズの原価 FY08 162百万円、4Q08 42百万円
- ◆ 4~5年に一度の大型バックボーンルータ更新等による設備関連費用増加、回線関連費用の増加、 ハイホー子会社化に伴う原価(FY07は10ヶ月分、FY08は12か月分計上)、 4Q08人件関連費用は人員増加なく有給引当戻し等で費用減少

Ⅱ-5. システムインテグレーション ① 売上・受注等の推移





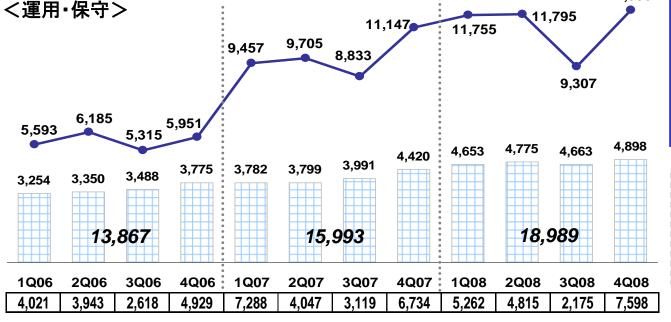


SI構築の状況

- ◆ 売上 FY07比 18.7%減、 4Q07比 13.7%減、3Q08比 24.7%増
- ◆ 受注残高 4Q07末比 39.9%減・1,899百万円減、 4Q06末比 18.7%減・657百万円減

SI運用・保守の状況

- ◆ 売上 FY07比 18.7%増 4Q07比 10.8%増、3Q08比 5.0%増
- ◆ 受注残高 4Q07末比7.7%增・861百万円増、 4Q06末比101.8%増・6,057百万円増



 SI構築売上高

 SI運用・保守売上高

 受注残高
 ※受注金額・残高に

 数値
 受注金額

Ⅱ-5. システムインテグレーション ② 案件及び人員の状況



SI構築案件の状況

- ▶ 大型アプリケーション開発案件への投資抑制
 - ・急速な景気悪化により製造業や人材サービス関連企業を中心に大型アプリケーション開発の 先送りや中止の動きが鮮明、FY07比約30億円程売上減
- > ネットワーク構築案件は比較的堅調
 - •12月~2月はNI案件も立ち止まりがあったが、3月以降戻りつつある感触
 - ・企業活動に必要不可欠なネットワーク案件中心に新規案件受注しSI顧客数は増加 (FY07比+約50社)

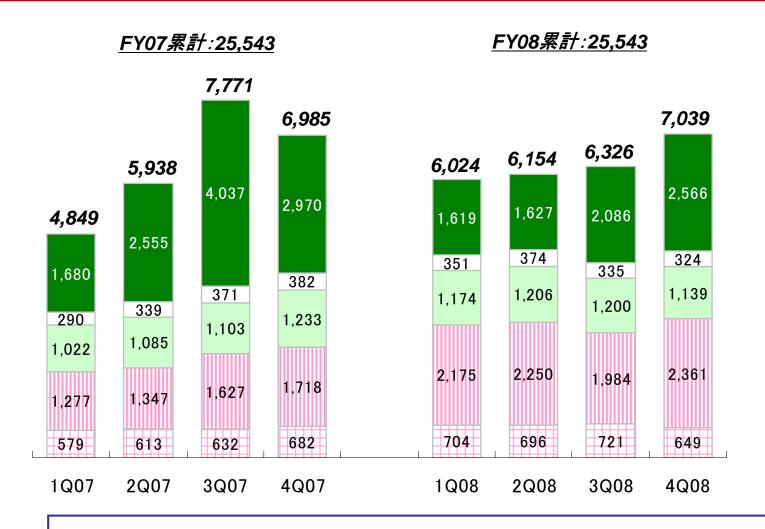
人員の状況

- ▶ 拡大前提とした期初常駐外注人員数を2Qより整理し下期に削減
 - •1Q08 352名、2Q08 352名、3Q08 299名、4Q08 254名
 - ・1Q09は220名規模よりスタート
- > SI人員(正社員)は下期増加なし
 - •FY09も大幅増員なく運営

Ⅱ-5. システムインテグレーション ③ 原価の推移



単位:百万円



■仕入

□その他

■設備関連

Ⅲ外注関連

□ 人件関連

- ◆ 原価総額: FY07比0.002%減、4Q07比0.8 %増、3Q08比 11.3%増
- ◆ 外注関連費用: FY07比46.9%增、4Q07比37.4%增、3Q08比19.0%增

4Q08は常駐外注人員削減はあったが売上増に伴い外注関連費用増加

Ⅱ-6. 販売管理費の推移



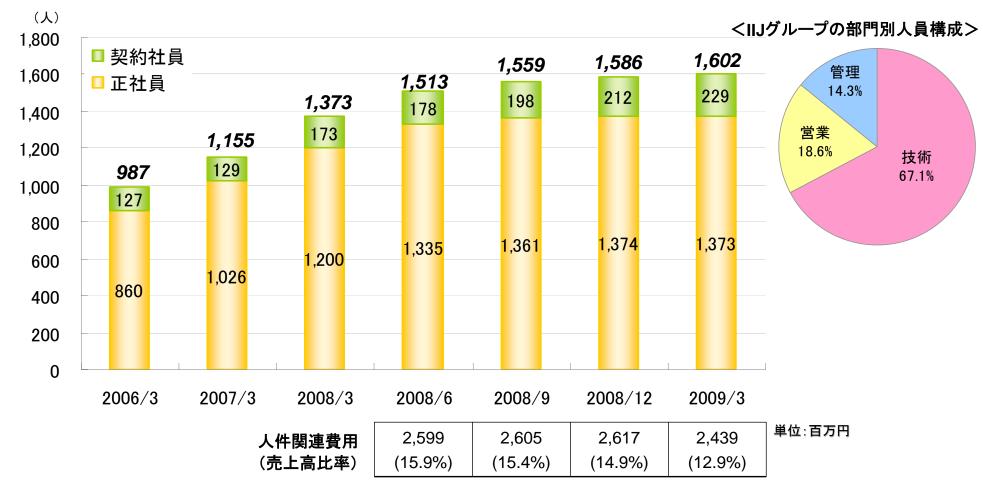
単位:百万円

2000000 研究開発費)売上比率 販売費 一般管理費 7,587 9,193 10,668 2,978 (15.7%) 2,614 199 2,550 2,526 2,458 (16.0%) (15.1%) 2,372 (14.4%) (13.3%) 2,301 **--59**-2,221 (12.9%) **--85**-**∞73**○ (14.1%) 2,062 **--61**--(13.0%) **∞63**∞ **≖60**≖ (15.1%) 1.874 **--55**--(13.8%)1,747 **--56**-1.744 1.654 (14.0%) (12.5%) --40-1,383 1,286 1,298 1,220 --40-1,185 **--43**-(8.7%) 1,153 (7.6%)(8.5%) (7.4%)(6.6%) 1,270 1,067 (6.5%) (7.1%) 924 (7.8%)862 915 (7.5%) (6.8%)(7.4%)(6.2%) 1,177 1,173 1,178 1,155 1,124 1,125 1,088 939 910 896 843 790 (7.2%)(7.0%) (6.6%)(5.9%)(6.4%) (6.7%) (6.1%)(6.9%)(6.4%)(6.0%)(6.7%)(5.3%)3Q06 2Q07 3Q07 1Q08 1Q06 2Q06 4Q06 1Q07 4Q07 2Q08 3Q08 4Q08

- ◆ 販売管理費: FY07比16.0%増、4Q07比21.2%増、3Q08比17.9%増、売上比率は15.7%
 - ▶ 4Q08にてソフトウェア等営業用資産の除却等424百万円により一般管理費が一時的に増加
 - ▶ 新設4子会社 販管費 FY08 709百万円、4Q08 258百万円
 - ▶ FY07比ではハイホーに関する販管費が増加(前年同期10ヶ月分、当期12ヶ月分)

Ⅱ-7. 連結従業員数の推移





- ◆ 連結従業員数 FY07末比229名增、3Q08末比16名增
 - ▶ 09年4月入社新卒新入社員数 77名(08年4月時は92名)
 - ▶ FY09は中途社員は大幅に増加しない計画
- ◆ 人件関連費用 FY07比 12.4%増、1,133百万円増、売上高比率 1ポイント増 3Q08比 6.8%減、179百万円減、、売上高比率 2ポイント減
 - ▶ 4Q08は有給引当戻し等による個別マイナス要因有り

Ⅱ-8. 営業利益・当期純利益の推移





	1Q07	2Q07	3Q07	4Q07	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08
法人所得税	175	▲ 1,980	392	552	213	326	653	▲190
少数株主損益	9	15	27	45	55	85	120	93
持分法損益	▲20	▲29	▲ 42	▲ 52	18	▲ 17	44	▲10

- ◆ 営業利益:FY07比 38.7%減 4Q07比40.6%減、3Q08比27.9%増
- ▶新設4子会社による営業損失: FY08 1,272百万円 4Q08 449百万円
- ▶FY08はQ毎に営業利益率が向上
- ◆ 当期純利益:FY07比72.6%減 4Q07比2.2%増
- ▶投資評価損:

FY08 524百万円、4Q08 195百万円

▶支払利息:

FY08 408百万円、4Q08 98百万円

→税効果会計による法人税等調整額: FY08 637百万円(損)、

1000 007 ログイ) 1000 007 エフログイン

4Q08 335百万円(益)

FY09は税効果(損)10億円前後と 想定

▶少数株主損益:

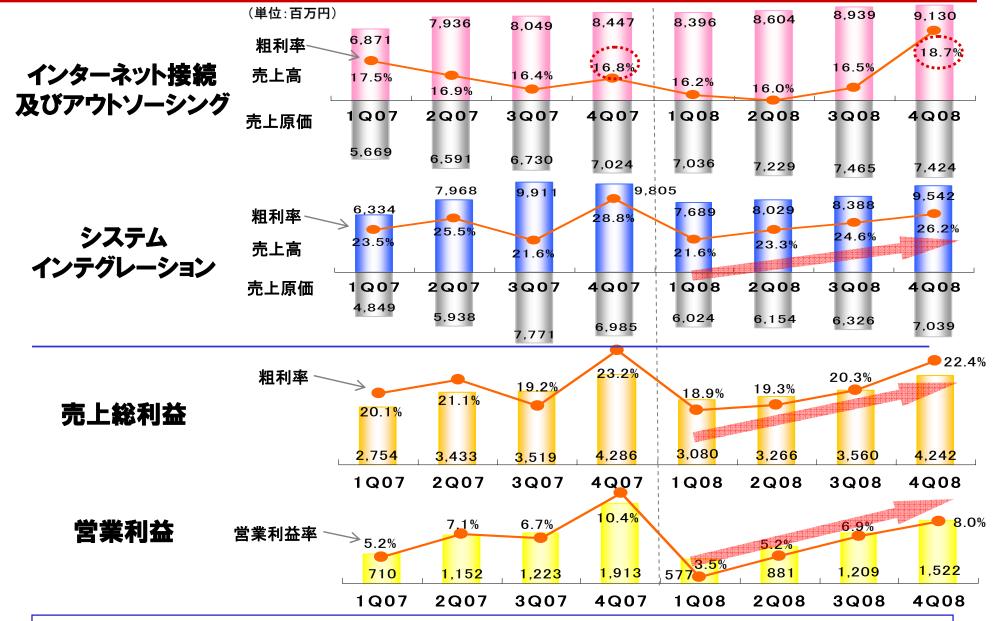
GDX Japan及びトラストネットワー クスに係る損失により、FY08 352 百万円(益)、4Q08 93百万円 (益)

▶持分法による投資損益: FY08 35百万円(益)、4Q08 10百 万円(損)

Ⅱ-9. 既存事業の収益推移

(売上・費用を既存事業・新設4子会社分に区分表示)



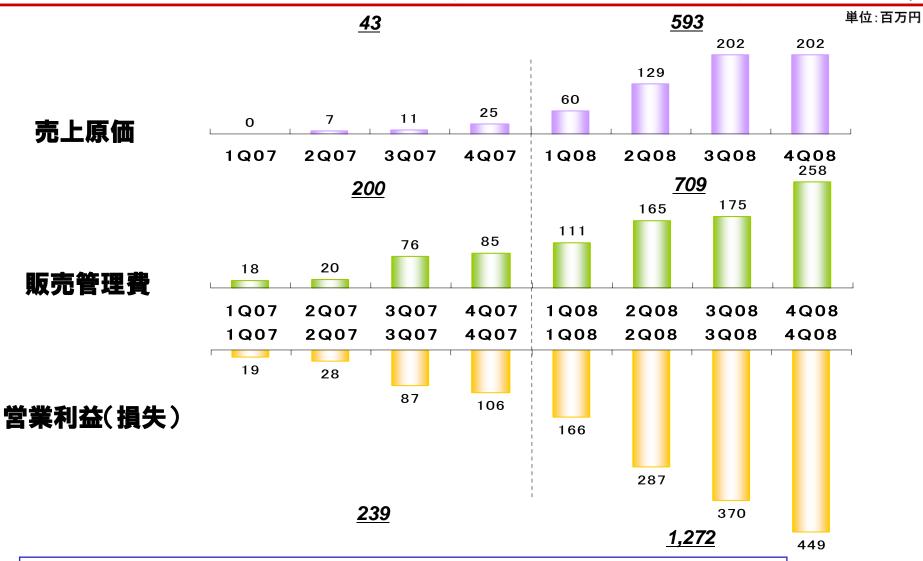


- ◆インターネット接続及びアウトソーシングは 順調な売上伸張、コスト減、モバイル損益分岐点超等により4Q08にて粗利向上
- ◆下半期にてSI外注費を始めとするコストコントロールが奏功、SI構築売上が伸びない中で継続的に営業利益向上

Ⅱ-10. 新設子会社4社の収益推移



(売上・費用を既存事業・新設4子会社分に区分表示)



◆ 各社営業損失: トラストネットワークス

GDX Japan

IIJイノベーションインスティテュート

オンデマンドソリューションズ

FY08 715百万円、4Q08 233百万円

FY08 175百万円、4Q08 37百万円

FY08 105百万円、4Q08 32百万円

FY08 277百万円、4Q08 147百万円

◆ FY09は新設子会社による営業損失は減少し10億円前後と想定、下半期に損失規模縮小の見込み

Ⅱ-11. 新設子会社およびIIJモバイルの状況





(株)トラストネットワークス

- ▶2007年7月設立 連結子会社(68.7%)
- ▶FY08営業損失715百万円
- ▶遊技業界向けに10台の銀行ATMを試行運営、 試行は順調に推移
- ▶今後4~5年程度で約8,000台の導入を展望



G □ X ◆ GDX Japan (株)

- ▶2007年4月設立 連結子会社(55.5%)
- ▶FY08営業損失175百万円
- ▶新サービスとして大容量ファイル転送を実現する「GDX Drop Box」を開発、提供開始
- ▶IIJサービスと連携したサービス展開へ



(株)IIJイノベーションインスティテュート

- ▶2008年6月設立 連結子会社(100%)
 - ▶FY08営業損失105百万円
 - ▶クラウドコンピューティングに対応する技術基盤の開発を 推進
 - ▶FY09はグループ研究開発機能を整理し強化



オンデマンドソリューションズ(株)

- ▶2008年4月設立 連結子会社(100%)
- ▶FY08営業損失277百万円
- ▶顧客都合によりサービス提供遅延、出費を抑えつつ計画 見直し中



IIJモバイルの展開

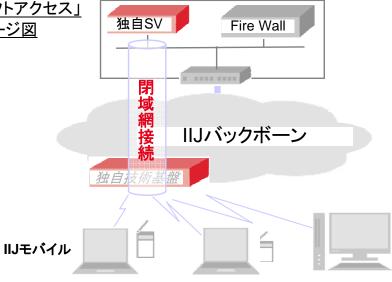
◆「IIJダイレクトアクセス」提供開始

独自技術をバックボーン内に実装し閉域網接続と同等の セキュリティ強度と利便性を実現、IIJモバイルを使うだけで 社内へ接続できるユーザビリティと端末セキュリティの高さ、 閉域網サービスに比べ低コスト等が特長

◆ M2M (machine to machine) 分野へ本格参入

M2M機器の制御を担うセンター側システムからモバイル 通信ネットワークまでをワンストップで提供予定

「IIJダイレクトアクセス」 イメージ図



Ⅱ-12. FY08 IIJグループ 新サービス一覧



■ 技術力を活かし新サービスの開発・提供を推進

モバイル関連サービス

- ●「IIJモバイル」に固定IPアドレス対応の新品目を追加
- ●「IIJモバイル セキュアリンク」を独自開発
- ●「IIJダイレクトアクセス」を提供開始
- ●M2M分野に向けた「IIJモバイル」の提供を開始
- ●「IIJモバイル」に固定IPアドレス対応の新品目を追加
- ●「IIJモバイル」に独自開発のデータ通信端末を追加し、 ラインナップを拡充
- ●個人向けサービス「IIJmio」と「hi-ho」において 高速モバイルデータ通信サービスを提供開始
- ●モバイルブロードバンドアクセスポイントの販売を開始

アウトソーシング関連サービス

- ●「IIJ SMF sxサービス」の接続回線として「IIJモバイル」に対応
- ●「IIJセキュアMXサービス」にて送信ドメイン認証技術「DKIM」に対応
- ●「IIJセキュアMXサービス」にて送信ドメイン認証機能を強化
- ●Webアクセス環境のセキュリティを最適化する 「IIJセキュアWebゲートウェイサービス」を開始

配信関連サービス

- ●Flash Video配信ソリューションにDRM機能を追加
- ●デジタルテレビ向け動画配信サーバソフトウェアを独自開発
- ●「IIJ大規模コンテンツ配信サービス」を提供開始

接続・その他サービス

- ●「IIJ IPv6導入支援ソリューション」を提供開始
- ●「SEIL/B1」を新たに開発
- ●「IIJ緊急地震速報配信サービス」の正式サービスを開始
- ●アッカの光回線対応「IIJ FiberAccess/Aサービス」を提供開始

グループ会社サービス

<IIJ-Tech>次世代FXシステムを開発

<IIJ-Tech>関西地区において「IBPS」の提供を開始

<IIJ-Tech>「DBコンサルティング・ソリューション」を開始

<ネットケア>監視サービス「A.i.s.e(アイズ)」を提供開始

<ネットチャート>IT関連機器に特化した廃棄処分サービス 「IT-Disposal Total service Iを提供開始

<ネットチャート>グリーンITを実現する「IT ECO Motion」 を提供開始

<GDX>ファイル転送サービス「GDX Drop Box」を提供開始

<タイへイコンピュータ>次世代販売促進ソリューション
「POCKETTA(ポケッタ)」サービス提供開始

Ⅱ-13. 連結バランスシート(サマリー)の状況



単位:百万円

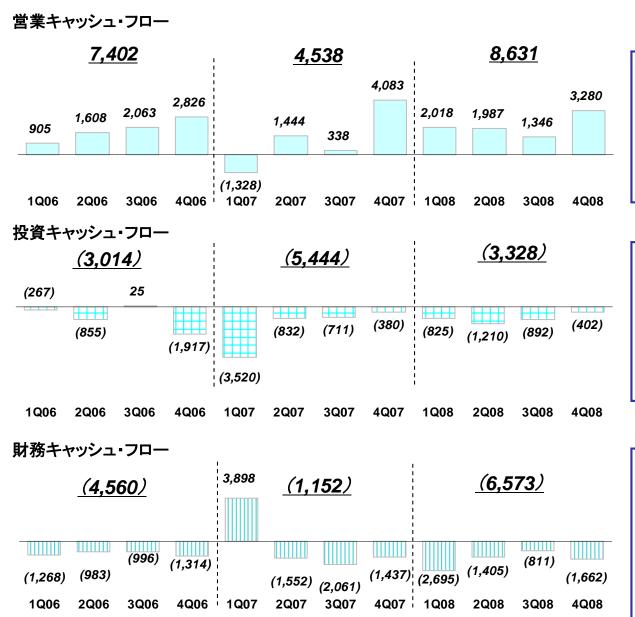
	2009年3月末	2008年3月末	前期末比
現金及び現金同等物	10,188	11,471	△ 1,283
売掛金	10,257	12,255	△ 1,999
たな卸資産	530	1,184	△ 654
前払費用	1,772	2,005	△ 233
繰延税金資産(流動)	762	1,091	△ 328
その他投資	1,915	2,364	△ 449
有形固定資産	13,173	11,740	+1,433
営業権及び その他無形固定資産	5,841	5,907	△ 66
繰延税金資産(固定)	2,253	2,459	△ 205
銀行借入(短期)	7,350	9,150	△ 1,800
欠損金	△ 18,549	△ 19,555	+1,006
その他包括利益累計額	△ 321	91	△ 411
資本合計	25,169	24,981	+188
総資産	52,301	55,703	△ 3,401

- > SI案件の減少により減少
- ▶ 上場株式等売却可能 有価証券674百万円
- ▶ 非上場株式863百万円
- ▶ 出資金等378百万円
- 自社設備増加等による 有形固定資産増加
- ▶ 非償却無形固定資産残 高5,535百万円
- ▶ 償却対象無形固定資産 残高297百万円
- > 短期借入金の返済に より減少
- ▶ 株主資本比率48.1%

Ⅱ-14. 連結キャッシュ・フローの状況



単位:百万円



営業CF FY08 8,631百万円の収入、 4Q08 3,280百万円の収入

- ▶4Q08にて売掛金は709百万円の増加
- ▶4Q08にて仕入れに関する買掛金及び未払 金の増加、SI案件に関するたな卸資産 及び前払費用等の減少

等

投資CF FY08 3,328百万円の支出、 4Q08 402百万円の支出

- ▶4Q08にて有形固定資産の取得による支出 328百万円
- ▶4Q08にて売却可能有価証券・短期投資及 びその他投資の取得による支出138百万円

쏰

財務CF FY08 6,573百万円の支出、 4Q08 1,662百万円の支出

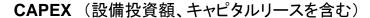
- ▶4Q08にて短期借入の返済575百万円
- ▶4Q08にてキャピタルリース債務の元本 返済 1.106百万円
- ▶4Q08にて自己株式の取得 106百万円

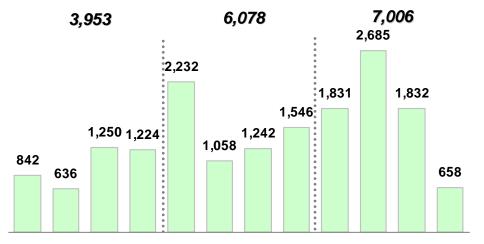
等

Ⅱ-15. CAPEX・減価償却・Adjusted EBITDA の状況



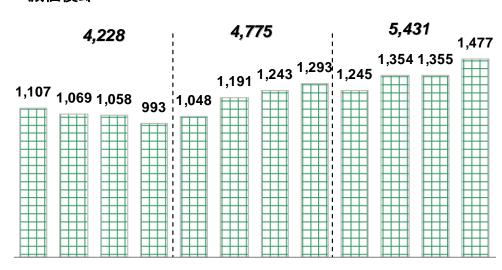
単位:百万円



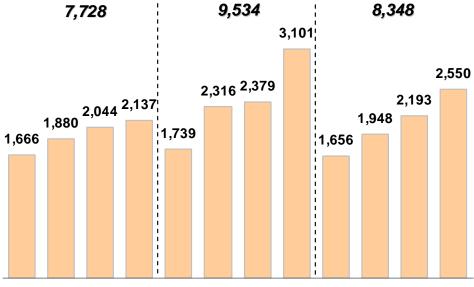


1Q06 2Q06 3Q06 4Q06 1Q07 2Q07 3Q07 4Q07 1Q08 2Q08 3Q08 4Q08

減価償却



Adjusted EBITDA (償却前営業利益)



1Q06 2Q06 3Q06 4Q06 1Q07 2Q07 3Q07 4Q07 1Q08 2Q08 3Q08 4Q08

1Q06 2Q06 3Q06 4Q06 1Q07 2Q07 3Q07 4Q07 1Q08 2Q08 3Q08 4Q08

Ⅲ. 2010年3月期連結業績見通し



単位:百万円

	2Q09累計(予) (09/4~09/9)	FY09(予) (09/4~10/3)	FY08実績 (08/4~09/3)	前年	度比
営業収益 (売上高)	33,500	73,000	69,731	3,269	4.7%
営業利益	800	3,300	2,917	383	13.1%
税引前 当期利益	550	2,700	2,034	666	32.7%
当期純利益	300	1,700	1,419	281	19.8%
一株当たり 当期純利益	1,481円	8,393円	6,918円	1,475円	21.3%
一株当たり 配当金	1,000円 (中間)	2,000円 (年間)	2,000円 (年間)	0円	0.0%

- ◆ インターネット接続及びアウトソーシング売上は引き続き伸張と想定
- ◆ SI構築は景気悪化の影響を鑑みFY08比約20億円強の売上減少を想定、SI運用保守は増収を見込むが 構築売上減少に伴い増収率低下と想定
- ◆ 新設子会社に係る営業損失は、通期にて10億円前後と想定
- ◆ 1Q09は新設子会社による営業損失影響により、前年同Q比営業減益との見通し

Ⅳ-1. ご参考: 2009年3月期 第4四半期(3ヶ月)連結実績



単位:億円

	<i>売上比</i> 4Q08 (09/01~09/03)	<i>売上比</i> 4Q07 (08/01~08/03)	前年同 四半期比
営業収益 (売上高)	189.4	184.9	2.5%
売上原価	^{78.6%} 148.9	76.9% 142.2	4.7%
売上総利益	21.4% 40.5	23.1% 42.6	△ 5.0%
販売管理費等	15.7% 29.8	13.3% 24.6	21.2%
営業利益	5.7% 10.7	9.8% 18.1	△ 40.6%
税引前 第4四半期利益	4.2% 7.9	8.9% 16.5	△ 51.9%
第4四半期純利益	^{5.6%} 10.6	5.9% 10.9	△ 2.2%

Ⅳ-2. ご参考:グループ会社一覧



		社名	出資比率	主な事業内容
	(株)アイアイジェイテクノロジー			システムの設計、開発、構築及び運用保守等
	if S IIJ Financial Systems	(株)アイアイジェイ フィナンシャル システムズ		金融機関向けシステムの開発、運用保守等
	Net Care	(株)ネットケア		ネットワークシステムの運用監視、カスタマー サポート、コールセンター等
	NET CHART JAPAN	ネットチャート体		LAN関連を中心としたネットワーク構築等
連結	IIJ America	IIJ America Inc.	100%	米国でのインターネットバックボーン網の運用、 インターネット接続サービスの提供等
子会社	hiha	(株)ハイホー		個人向けISP事業等
	On Denual Solutions	オンデマンドソリューションズ(株)		プリントオンデマンドサービスの提供等
新規事業 (FY07~)	IIJ INNOVATION INSTITUTE	(株)IIJイノベーション インスティテュート		インターネット技術開発および インキュベーション事業等
	Trust	(株)トラストネットワークス	68.7%	ATM・ネットワークの運営等
	WIGHTS GRAMANIA TONG	GDX Japan傑	55.5%	メッセージ交換ネットワークサービスの提供等
14. / S. 44.	mø	インターネットマルチフィード(株)	31%	相互接続ポイントの運営、コンテンツ配信等
持分法 適用 関連会社	i-revo	(株)インターネットレボリューション	30%	インターネットポータルサイトの運営等
厌 是女让	TAIHEICOMPUTE	IR タイヘイコンピュータ(株)	45%	ポイント管理システムの提供等

IV-3. ご参考:4Q08 主要プレスリリース一覧



其	J	日付	項目
		2009/1/7	自己株式の取得状況に関するお知らせ
		1/27	IIJ、自社サービスとネットワーク設備におけるIPv6への対応状況を発表
			自己株式の取得状況及び取得終了に関するお知らせ
		2/3	IIJ、Webアクセス環境のセキュリティを最適化する「IIJセキュアWebゲートウェイサービス」 を開始
		2/9	IIJ、「IIJモバイル」に独自開発のデータ通信端末を追加し、ラインナップを拡充
		2/12	業績予想の修正に関するお知らせ
FY08	4Q	2/12	平成21年3月期 第3四半期決算発表
		2/18	IIJグループ、モバイルブロードバンドアクセスポイントの販売を開始
		2/25	IIJ、「IIJセキュアMXサービス」において送信ドメイン認証機能を強化
		3/2	IIJ、「IIJモバイル」に固定IPアドレス対応の新品目を追加
		3/3	IIJ、「IIJダイレクトアクセス」を提供開始
		3/17	IIJ、「IIJ IPv6導入支援ソリューション」を提供開始
		3/19	IIJ、M2M分野に向けた「IIJモバイル」の提供を開始
		3/31	IIJ、「IIJセキュアMXサービス」の機能を拡張
EV00	1Q	4/9	IIJとスキルアップジャパン、国内初の著作権保護機能を実装したFlash Videoストリーミング配信の実証実験を開始
FY09		4/17	IIJ、高機能ルータ「SEIL」シリーズに新たにURLフィルタリング機能を追加
		4/27	IIJ、IPv6接続機能を無償で提供する「IPv6仮想アクセス」を開始

※ 事業等のリスク

本資料には、1995年米国民事訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act of 1995)の「セーフハーバー」規定に定義する「将来性の見通しに関する記述(forward looking statements)」に該当する情報が記載されています。本資料の記載のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社グループまたは当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。また、今後の当社グループまたは当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。現時点において想定しうる当社グループの主なリスク及び不確実性として、

- 1) 国内景気の低迷、経済情勢の変化等による企業のシステム投資及び支出意欲の低下、
- 2) サービスの中断等による当社グループのサービスへの信頼性の低下及び事業機会の逸失、
- 3) ネットワーク関連費用、外注費、人件費等、費用規模の想定を超える増加、
- 4) 競合他社との競争及び価格競争の進展、
- 5) 投資有価証券及び営業権等ののれん資産の価値変動及び実現、
- 6) 税効果会計による法人税等調整額の規模及び実現時期の変動

等がありますが、これら及びその他のリスク及び不確実性については、当社グループまたは当社が、1934年米国証券取引法(Securities Exchange Act of 1934)に基づき米国証券取引委員会に届出し開示している英文年次報告書(Form 20-F)及びその他の書類をご参照下さい。

※ お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ (財務部 IR室)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング

TEL: 03-5259-6500 FAX: 03-5259-6311 URL: http://www.iij.ad.jp/IR E-Mail: ir@iij.ad.jp

